

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・各領域、授業時間の最初にスキルアップタイムを設けたことで、動きのポイントを理解できる児童が増えた。技能の向上から、運動にすすんで取り組む児童が増えてきた。
- ・ウォーミングアップで音楽を取り入れるなどの工夫をしたことで、児童の意欲を高めることができた。

(2) 課題

- ・技能面で、下学年からの積み重ねができていないところがある。十分に運動の基礎基本の技や動きを身に付けているとは言えず、個人差がある。
- ・学習中にシェアタイムを確保したが、仲間の良い動きや動きのポイントを見つけたり、めあてを達成させるための手段を自分で見いだしたりすることが難しい。
- ・低学年、中学年は意欲が高くすすんで運動に取り組むが、高学年になると運動能力に差がつくことにより、意欲が低下する児童が見られる。
- ・運動の約束をしっかりと意識付け、安全に運動させる必要がある。
- ・下学年で、一定の速さで運動することができず運動が持続しない。

2 今年度の授業改善プラン

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○スキルアップタイムを確保する。</p> <p>・感覚運動につながる運動を行う中で、主運動につながる基本動作を確認させ確実に実践させる。</p> <p>○技能習得のために、習熟段階に応じて複数の場を用意する。</p> <p>○見本動画を視聴して、正しい動きを身に付けさせる。</p> <p>○目的に応じて音楽をかけて運動させ、リズムに合わせたり、一定の動きを持続させたりする。</p>	<p>○シェアタイムを確保する。</p> <p>・見つけたポイントを紹介し合ったり、アドバイスし合ったりさせる。</p> <p>・友達の良い動きを見たり、どうしたらできるようになるかを考えさせたりする。</p> <p>○児童が自分のめあてを達成させるために、複数の場を用意し選べるようにする。</p> <p>○シェアタイムや主運動を行う中で、自分が運動している場面を動画で撮って見ること、児童にできているものとできていないものを確認させる。</p>	<p>○運動の始めや途中で、想定できる安全への配慮や運動の約束を共有させる。</p> <p>○教師が、各運動領域の動きの特性を十分に理解した上で、場や用具を工夫し、運動に取り組みやすくさせる。</p>